

2024.3.21 (木)
第 34 回例会
(通算3749回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (釧路港 RC)

月間テーマ

青少年奉仕月間

本日のプログラム

「IM に参加して」(理事会)

次週例会

「座禅例会 (定光寺)」(社会奉仕委員会)

- ロータリーソング：我らの生業
- ソングリーダー：堀 充利君
- 会員数 104 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間

後藤 公貴会長



愛し
の輪を
広げま
しょう

皆さま、こんにちは。3月の年度末ということで別れと出会いの季節だと思っています。伊藤支店長、新天地でもご活躍を期待しております。

また、古屋君という新しい仲間ができました。新しい仲間も活力を与えるものだと思いつつながら食事をさせていただきました。

本日は2点の報告をさせていただきます。先週、皆さまにご報告させていただきました『釧路ロータリークラブ特別対策基金』について例会でのご報告、そして、皆さまにメール・FAXでのご報告の中で、今日まで異議申し立てのご連絡がなかったものですか、先週お伝えしたとおり、規約に則って能登の地震への支援金に20万円を拠出させていただいて、わがクラブの皆さまからいただいた支援金と合わせて明日、第2500地区に振り込むことをご報告させていただきます。

もうひとつです。次週になりますが、小船井パストガバナーと荒井会長ノミニがタイ国の第3330地区の地区大会、そしてグローバル補助金の視察も併せてタイに旅立たれます。クラブを代表して、また地区に

対する貢献でわがクラブから行くことは本当に大変なことと思いつつながら、私は残念ながら行けませんが、当地でのご活躍をお願いいたします。また、その時の模様もどこかでお話される機会があればお伝えできたいと思います。

本日の例会は、先週末に開催された第2500地区第7分区インターシティーミーティング、いわゆる「IM」の報告会です。30名余りのメンバーの皆さまにご参加いただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

本日は4名から5名の発表があると思いますが、それぞれが感じたことを忌憚なく語っていただければと思います。

本日もロータリーを勉強する有意義な時間としてまいります。本日より、どうぞよろしくご報告申し上げます。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。先週のIMですが、ご参加された皆さま、本当にありがとうございました。感謝いたします。

来週の定光寺での座禅例会ですが、出欠が昨日までとなっております。まだ、出欠のご連絡をいただけない方は、本日中午に私か大山さんまでご連絡をお願いいたします。お弁当の発注がありますのでよろしくご報告いたします。ぜひご参加いただいて、肩をたたか

れていただければと思います。

4月から例会会場が向かいの「鶴の間」に変更になりますのでお間違いのないようよろしくお願いいたします。

以上が幹事報告になります。

新入会員紹介 スポンサー 松井 聖治君



皆さま、お疲れさまです。新入会員の古屋君を紹介させていただきます。

皆さんはご存じかと思いますが、前まで会員でしたアク

アトピアの古屋さんの息子さんです。現在、アクアトピアの代表取締役でございます。生年月日は、昭和56年で42歳です。また、来年の平均年齢を少し下げてくださいと思っています。

ご家族は、奥様と春から小学校1年生になる翔生君という息子さんと三人暮らしです。ゴルフはしません。マージャンはします。趣味はスポーツと書いてありますので、人に教えるくらいスポーツが得意なのかなと思います。何かあったら、聞いてみてください。

大学を卒業されて、2004年にアクアトピアに戻ってこられて、そこから2014年に代表取締役になっておられます。

ちなみに、僕は2001年からアクアトピアの会員です。僕のほうが少し先輩となっております。スポンサーは、僕と青田さんのアクアトピア・コンビです。ですのでよろしくお願いいたします。

ご覧のと通りのスポーツマンの好青年です。人柄的にはお父様を超えていると思いますので、皆さま、積極的に話をさせていただいて仲よく迎えていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、本人からご挨拶をお願いいたします。

新入会員挨拶

株式会社釧路スイミングクラブ

代表取締役社長 古屋 大輔君



今日は、歴史と伝統のある由緒正しき釧路ロータリークラブに入会させていただきました。また、入会をお認めいただきまして誠にありが

とうございます。

こういう会に参加する機会が今までありませんでしたので、少しでも勉強させていただければと思います。皆さま、ご指導のほうをよろしくお願いいたします。

今日はありがとうございました。

後藤会長から新入会員へ歓迎挨拶

古屋大輔君、このクラブの敬称は「君」でお呼びしますので、これからはご了承ください。

昭和56年生まれということで、若い・頼もしい仲間がまた一人増えました。わが釧路ロータリークラブは、参加をたくさんすると、よりよいクラブだなと実感できると思いますし、また自身の成長につながるものと僕は確信をしております。私も12年間、様々な場面に出席させていただいて、ここまで成長させていただいたと思っています。

お父様をご入会されていたということで、雰囲気はなんとなくは聞いていたり、見ていたりすると思えますけれども、やはりご自身で感じる事が一番ためになることだと思いますので、間違いなく週に1回は「例会」の機会がありますので、ぜひ多くの機会を体験していただければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

所属委員会ですが、親睦活動委員会に所属となります。濱口委員長、よろしくお願いいたします。

改めて、本日のご入会、おめでとうございます。

退会ごあいさつ 伊藤 淳君



日本生命の伊藤です。この度、異動になりました。2年間という大変短い期間でしたが大変お世話になりました。

釧路は夏の涼しさが魅力のひとつだと思いますが、私は真冬の青く晴れた空の釧路が大好きでした。北海道で初めて勤務させていただいて釧路の魅力に触れて、こちらでキャンプを始めました。ヒグマが怖くて、ヒグマが冬眠に入った頃の冬からキャンプを始めました。冬専門のキャンパーとしてやっております。

鶴居村でキャンプをすることが多かったのです。朝、起きてテントのファスナーを開けると、真っ白の世界の中で、つがいのタンチョウがテントの前に舞い降りて来る瞬間もありました。本当に忘れられない釧路での生活がありました。

そんな釧路生活を満喫している私を家内もうらやんでいて、東京にあった20年以上住んでいた家を売って、長く勤めていた会社を辞めて、昨年の7月から13年ぶりに夫婦の共同生活がスタートしました。その矢先の今回の異動となります。

私は来週から、横浜駅の近くにある横浜北支社に異動になります。私どもの会社では家を買おうと転勤をさせられるというジンクスがありますが、今回は家を売ると戻らせられるという新手の嫌がらせを会社から受

けまして、横浜での勤務となります。横浜でもそうですがこの先、いろいろな所を転々とすると思いますが、行った先で釧路の魅力の語り部となることをお誓いしまして退会の挨拶とさせていただきます。

私の後任には、仙台から染宮という者がまいります。今期から藤原もお世話になっておりますので、兩名ともどもよろしくお願いたします。2年間、ありがとうございました。

■本日のプログラム■ IMに参加して

後藤 公貴会長



少しお耳をお貸しください。先ほどのご挨拶でもふれさせていただきました30名余りの皆さま、本当にお忙しい中、また長時間に亘っての

ご参加をいただきまして誠にありがとうございました。二次会は当店で、十数名でやらせていただきました。美味しいお酒を飲ませていただいて、つつい幹事と二人で久しぶりに3時くらいまで飲んで、昨日まで具合が悪かったです。

私からは、IMに当日参加されていない方もいらっしゃるから、プログラムとその模様、最後に私なりの感想を述べさせていただければと思います。

まず14時から開会して、鶴見ガバナーが見えられていました。また、来賓として釧路市長蝦名大也様も見えられておりました。

鶴見ガバナーもそろそろ着陸態勢に入っていて、肩の力が抜けていい表情をされているというのが私の感想でした。

メインプログラムが3部構成でした。第1部の基調講演は、足立巧一パストガバナーが『ロータリーが目指す地域の青少年育成』というテーマでご講話をされました。ちなみに、今回のIMの全体のテーマが『希望あるシン時代を創造しよう』、この「シン」は片仮名になっていて最近の「シン・ゴジラ」「シン・ウルトラマン」の「シン」。「それぞれが想う『シン』を感じてください。未来を担う新世代のために」が佐渡ガバナー補佐の思いでありましたことを付け加えます。足立巧一パストガバナーのご講演の中では、地域の青少年の現状を語っておりました。10年後、15年後には人口が10万人になるとか、明るい未来を描けないという「負」の投げかけがメインになっておりました。どちらかというと、蝦名市長へ多少苦言のようにも聞こえたプログラムでした。

第2部は、各クラブで行っている青少年育成、並びに

青少年奉仕活動の発表です。最初から「3分以内で終わるように」という指令が来ておりましたから、これは30分のプログラムでした。わが釧路ロータリークラブは昨年10月に開催した、釧路湿原で小学3年生から6年生を対象にして行った釧路湿原のツアー「地元を知ろう」をテーマに地区補助金を活用した事業を3分間で発表させていただきました。こちらでも言わせていただいていた『ロータリーの友』2月号にその事業の様子が写真と解説付きで載っておりますので、ご興味のある方はもう一度確認をしていただければと思います。

7分区の中の8クラブがそれぞれ伝統的に行っている青少年育成事業・奉仕事業はたくさんあって、スポーツがメインになっていたのですが、各クラブは「地区補助金を活用した事業を発表しなければいけない」と勘違いがあって、植樹事業がいっぱいあって、地域奉仕事業がメインだったみたいにおもいますから、このような会を運営するときには意思の統一が必要だなと感じました。

第3部のパネルディスカッションは、今回、市内の高校生1・2年生を対象に630名余りの生徒から21問のアンケートを取ったそうです。これは釧路について、「釧路は好きですか」「これからも釧路にいたいですか」「釧路の遊ぶ場所はありますか」「将来、釧路に戻って来たいですか」というような流れの質問をしておりました。印象的だったのは「釧路に帰って来たい」という人が75%くらいいたのです。「明確に帰って来たい」「できれば帰って来たい」というポジティブな人たちです。もっともっと違う印象を持っていたものから、「この街が好きだ」という子が案外多くて、でも、学ぶ所、働く所がなくして仕方なく都会に出てみたいという思いもあるでしょうから、そこで学んでいるうちに夢が見つかってとまっていると思いました。こちらは、湖陵高校の2人と江南高校の2人がパネラーとなって佐渡ガバナー補佐がコーディネーターになって「その設問にどう思いますか」というディスカッションを行っておりました。

その後の「友愛の広場」も本当に楽しく過ごしました。後ほど、小野寺君からその時の話があると思います。それから、僕らが次にIMを行う現在の予定では、われわれが90周年を迎える年にわれわれのクラブからガバナー補佐を輩出する予定になっております。90周年という大きな節目、われわれのクラブが今までどのように活動してきた、地域に何を伝えるのかをより明確にし、しっかりと伝えられるような、ここからの2年間か3年間を皆さままで過ごしてまいりたいし、ロータリーを大事にして行きたいと改めてこのIMをとおして感じさせていただきました。

これから3名4名の方から感想があると思います。非常に雑駁な話になりましたけれども、私がIMに参加

した思いとなります。

長い時間申し訳ありません、ご清聴ありがとうございました。

日理 一哉君



皆さま、お疲れさまです。亘理です。先週、I Mに参加させていただきました。「新入会員として一言報告して下さい」と佐藤さんから言わ

れましたが、それを最初から聞いていれば、きちんと最初から話を聞いていたのですが、言い訳ではありませんが役割で会報の写真を撮っていたものですから、前半はほぼ聞いていませんでした。すみません。後藤会長の事業報告も聞いていませんでした。いま、そういうことを報告していたのだと分かりました。ということで、皆さまに有益な情報をお伝えすることができないと思います。

実は2019年の白幡パストガバナー補佐がパネリストとして登壇したときに参加した記憶があったのですが、それから時間も空いているものですから、I Mって何だろうから始まって参加させていただきました。割とゆっくり話を聞けたのは、佐渡ガバナー補佐がコーディネーターになって釧路湖陵高校と江南高校の生徒とディスカッションしたところでした。600人以上のアンケートを集めてやって行くのですが、そこにいた蝦名市長には耳の痛い話が結構ありました。その隣にいた鶴見ガバナーも蝦名市長の顔を見ることができなかったという感じの意見もあったのですが、今の高校生がどのようなことを考えているか忌憚のない意見も聞きましたので、私なりに良かったと思っています。

自分の高校生のころを考えると、今の高校生は自分の将来のことや地域のことを考えているのだなと思って、感心しておりました。

その前の足立パストガバナーの話の中で、Z世代の定義の発表がありました。私もそれを聞いて「今の若い人にそういうところあるね」「自分の意見を押し通すね」、あるあると共感したのですが、彼ら、彼女らの話を聞いて、私たち大人が色メガネで、ひとくくりで見たいいけないと思っていました。

自分の若い時のことを考えると「今の若い者は！」と言われた時に、「じゃ、あなたの若い時はどうだったの」と突っかかって行ったこともありますので、ひとくくりで言うのは好きではないですが、改めてそう思ったところです。

登壇していた江南高校の日野ななみさんは生徒会長で、私の娘と同級生でした。彼女も卒業したら釧路か

ら出てしまう話もあって、4人ともそうだったので、それを聞くと私の娘と重なって寂しい気持ちになったのです。これはしょうがないことです。われわれ大人が彼や彼女の可能性を縮めてはいけないと思っています。一番いいのは、外に行って成長してこっちに帰って来て活躍してもらうのがいいのです。帰って来られなくても、先日の講演いただいた四宮琴絵さんのように外から釧路を応援してもらうとか、地方を応援してもらい、そして推し活をしてもらおうという関わり方もできると考えております。それをお互いに考える時間ができたと思って、私はいいディスカッションができていたと思っていました。

そんなことで、長時間のプログラムでしたが有意義な話を聞けましたので、あっという間の時間でした。また来年、I Mがあれば積極的に参加して私も勉強して学んで行きたいと思います。

つたない話でしたが、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

小野寺 俊君

皆さま、こんにちは。私は友愛の広場の担当としてご報告させていただきます。



思えば昨年、I Mは白糠で開催されて当クラブは貸し切り列車で参加させていただきました。見事な車掌トークをさせていただいてから1年で、時の経つのが早い気がしております。

夜の懇親会です。余興で石井副幹事には前半に出てもらって、後半は私が出させてもらって、いかに釧路クラブがウケルか、を思い描いて参加したのです。前半はいい感じで行けたのですが、最後の最後で「曾我部会員の北泉開発の鹿肉はどれだ」という試食があって、鹿とクジラとトド肉など4種類あって、食べたんですけど味付けが全部同じで、正解の鹿肉はパサパサしていて美味しいとは思えなくて、一番美味しいと思ったのはヒグマでした。同じ同郷の阿寒町の仲間である曾我部さんが丹精込めて作っている鹿肉を当てることができなくて、あの時だけはボケもできなく、素で間違えました。

久しぶりに釧路で懇親会開催ということで、7分区のクラブの方と交流が図れる貴重な機会だと思います。昼間は難しいお話もありましたが、先ほどは後藤会長からありましたが、数年後に迎えるだろうわれわれのクラブで仕切るI Mがいいものにできればいいなと思いました。その時に私は何をやっているか分かりませんが、友愛の広場であるように趣向を凝らしたものは僕には苦手なので司会でもやらせていただ

ければと思いますので、今のうちに立候補しますので、考えていただきたいと思います。

雑駁ですけど、友愛の広場のご報告でした。ありがとうございました。

吉田 英一君



皆さん、こんにちは。次年度の副会長を仰せつかっております吉田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

実は、入会してから毎回 I M に参加させていただいておりました。その中で、次年度副会長という役目もありましたので、今年に限っては 30 分前に行きまして、そして最後までしっかり話を聞いたという体験をしました。

なぜ私がこの話をしているかという、次年度三役で、高橋次年度会長に不幸があって途中で退席しなければならず、東堂幹事予定者が出張に行かれていますので、僕が最初から最後までいたということです。高橋次年度会長が 4 時半くらいに帰られた後に、それでは一人でゆっくり瞑想でもしようかと思ったら隣の席に小船井パストガバナーが来ていて、非常にいい刺激で最後まで瞑想せずに真面目に聞いておりました。

内容は、後藤会長と日理君が話していたとおりで、「良かった」「悪かった」を抜きにして、刺激があったと思いました。

最後の友愛の広場は、小野寺君も話しておりましたが、私の印象に残っているのは、最後に小野寺君がうんちくを語る時に鈴木宗男さんのマネをして話しているのに、誰もが反応しないで素通りしたということです。最後にハズレたなどと思って、縮めて終わったことが一番の印象になってしまいました。

90 周年の時に釧路クラブの主催の話もありましたけれど、それを成功させるためには、来年の I M は釧路東ロータリークラブが担当しますのでどのようなのか、皆さん参加して見ていただいて、刺激になって今後のロータリークラブの活動の糧にいただければと思います。

来年一年間、いろいろ要望とお願いをするかもしれませんが、よろしくお願いを申し上げまして報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

佐藤 貴之幹事

私からは、事務方として話したいと思います。

I M 開催にあたって、北クラブさんの事務方から事前に「全員登録で」とい



うことで参加のお願いがありましたが、皆さんの実際の出欠や会長の活動報告資料の提供などがありましたので「データはありますか」「当日、プロジェクターを使いますか」などいくつかのやり取りをしました。前日に急遽「クラブからネームバッチを持って来てくれ」と。ウチは大山さんから事前に、「当日使うから準備をして」と言われていたので大丈夫でした。そういう連絡が来て、少しあちらもバタバタしている感じがしていました。

北クラブの若手の方に聞いたら、当日は若手の方たちは朝 9 時に集合して、午後からの開催に備えていたそうです。

後藤会長からありましたとおり、ウチのクラブは 90 周年と I M が重なります。「ロータリーは仕事優先」とよく聞きますが、私たち若手に関してはそのようなことは一切ないのが北クラブを見ていて思いました。北クラブも登録は 104 名でしたが、実際の実行部隊の数字を見たら 55 名の参加でしたので半分くらいの方は参加されていないようでした。参加した人たち・若手達でやらなければいけない事業なのですが、ウチのクラブもそうですが 90 周年に備えて、自分は若手だなど思っている方は何となく準備をしていただければと思います。

90 周年の実行委員長はどなたになるか分かりません。私は多分、幹事が終わったばかりなので、そっとしておいていただけるのかなと少し感じております。

最後は懇親会の話です。小野寺さんも出られたのですが、石井副幹事も出られていて、石井副幹事もなかなかやらかしていますのでご報告します。濱口委員長が「どこかの夜間例会で同じことやりたい」と言っておりましたので、もし、行う機会がありましたら小野寺さん・石井副幹事にリベンジの機会があるかと思っておりますのでよろしく願いいたします。

本日のニコニコ献金

- 樋口 貴広君 次男が高校合格しました。
- 濱口 憲太君 長男が高校合格しました。
- 石井 孝行君 次女が志望大学に合格しました、

今年度累計 414,000 円